

学校運営協議会 (CS大崎)

令和8年7月22日作成 No. 3

令和8年7月22日の午後に、第3回学校運営協議会 (CS大崎) が開催されました。「コミュニティ・スクール活性化モデル事業」を踏まえて、講話とワークショップが行われました。

【地域とともに育む「大崎っ子」の未来】

1 開会 (校長)

2 (1) 講話

※講師 安田隆人さん

(岡山県教育庁生涯学習課地域学校協働活動アドバイザー)

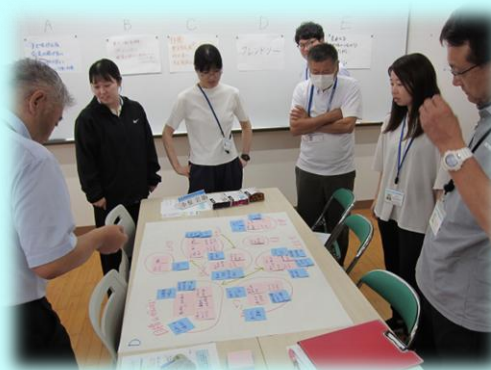
「コミュニティ・スクールとは」

講演では「**地域とともにある学校づくり**」の意義や、子どもたちの健やかな成長を支えるために学校・家庭・地域が連携することの大切さについて、具体的な実践事例を交えながら分かりやすくお話いただきました。

(2) ワークショップ

ワークショップでは、それぞれの立場から率直な意見やアイデアが交わされ、「大崎っ子のために何ができるか」を共に考える、実りある時間となりました。

3 閉会 (校長)



参加者の皆様の熱意が、会場いっぱいに感じられました。

<大崎小学校の目指す子ども像>

- 学力をつけて、自分で考え意識し、行動・発言ができる子
- しっかりとあいさつができ、互いに思いやりを持って行動できる子
- 心身ともに健康で、健やかに生活できる子



コミュニティ・スクール (CS 大崎) の講話とワークショップを終えて

◆「思いを語り合い、つながりを深める時間」(ワークショップ)

学校・家庭・地域が同じテーブルを囲み、「大崎っ子のためにできること」をテーマに活発な意見交換が行われました。

◆「みんなで育てる、大崎っ子」

講演会を終えた参加者の笑顔には、「地域総がかりで子どもたちを育てていこう」という共通の願いと温かなつながりがあふれていました。